

ふれあい



こちらにも
アクセス!!
ホームページ



JAみちのく村山「ふれあい」No.372 2026. 3. 10発行
編集・発行/みちのく村山農業協同組合 山形県村山市福岡北町一丁目1番1号 TEL0237-55-6311(代) FAX0237-55-5825
JAみちのく村山ホームページ http://www.mitnoku.or.jp E-mail info@mitnoku.or.jp

家族で楽しむおいしい一皿

レシピ提供 ● 料理研究家 和田麻紀子

簡単レシピで春野菜を楽しもう!



タケノコ入り鶏つくね

材料(4人分)

- タケノコ (ゆでたもの).....100g
- 鶏ひき肉.....400g
- 小ネギ.....4本(40g)
- A 卵.....1個
- 片栗粉.....大さじ2
- おろししょうが.....10g
- 塩.....小さじ2/3
- こしょう.....少々

シャキシャキ
食感が楽しい!
冷めてもおいしいので
お弁当にも

- 油.....適量
- しょうゆ.....大さじ2
- B 酒.....大さじ2
- みりん.....大さじ2

作り方

- 1 タケノコは大きめのみじん切りにする。小ネギは飾り用に3、4cm幅に切って少し取っておき、残りを小口切りにしておく。Aをボウルに入れてよくこね、食べやすい大きさに丸めてつくねを作る。
- 2 フライパンを温めて油をひき、つくねを並べる。中火でこんがり色がつくまで焼き、ひっくり返してふたをして5分ほど蒸し焼きにする。ふたを取ってひっくり返しながらかき上げる。串を刺して透明の肉汁が出るようになったらBを混ぜ合わせて入れ、少しとろみがつくまで火を入れて、つくねに絡める。
- 3 皿に盛り、①で取っておいた小ネギを散らして出来上がり。

※写真は2人分

ポイント

形崩れを防ぎ、食感を良くするためよくこねましょう。丸めづらい場合は手に油(分量外)を塗るとまとまりやすくなります。

アレンジ

- タケノコをレンコンやキノコなど季節の野菜に替える
- さんしょうをひと振りして大人向けに

おうちのめんごっこ



村山市土生田

早坂 ちわ ちゃん(5歳)
はる 晴 くん(3歳)

▼名前の由来は?
一和(たぐさ)と(和)平和、和む(ちゃん)は、沢山平和が訪れ、たくさんを和ませる子になってほしい、和の心を持ったおしとやかな女の子になってほしいという想い。晴くんは、晴れ渡った青空のように澄んだ綺麗な心でいてほしい、晴れた広い空の様に広い心を持った子になってほしいという想いで名付けました。

▼普段どのように過ごしていますか?
一和ちゃんは、バスルやスライムやお化粧品で、晴くんは、プラレールや踏切のおもちゃで遊んでいます。

▼好きな食べ物は何ですか?
一和ちゃんは、卵焼き、チョコレート、晴くんは、刻んだほうれん草とちりめんを入れたひきわり納豆。うまい棒が大好きです。

▼成長を感じる時はどんな時ですか?
一使用方を教えていないのにスマホの触り方やYouTubeの操作をしている時や2人でけんかをしながらも楽しそうに遊んでいる時です。

▼両親から一言
これから4人で楽しい思い出をいっぱい作ってほしい。二人は私達の宝物です。



写真・撮影/不肖の顔はお取替えいたします。 印刷・製本/街印刷文化堂 再生紙を使用しています。

元気にがんばってます!

大石田町大浦
 青木 ^{さだよし} 定義 さん(74歳)
^{なおこ} 直子 さん(75歳)



▼青木さん宅の農業は?
 青木さん宅では、水稲100町とかぼちゃ40町、ジュース用トマト15町を栽培しています。じゃがいもやナス、ピーマンなど野菜は、道の駅尾花沢「花笠の里ねまる」に出荷しています。父の時代は田んぼと養蚕が主で手伝いもしていましたが、公務員を退職後、桑園を耕し妻と一緒に野菜作りを始めました。「やまがた地鶏」も育てていて、大石田町ふるさと納税の返礼品にもなっています。

▼農業の魅力は?
 納得のいく美味しいものができた時、それを食べられることが農業の魅力。近所の人たちにおすそ分けして、美味しいと喜ばれた時はうれしくなります。

▼元気の秘訣や楽しみは?
 体を動かすことが好きで、クロスカントリースキーの大会で北海道まで行きました。また、ホノルルマラソンにも参加しました。

▼お互いの一言
 ・定義さんから直子さんへ
 「昨年金婚式を迎え、これからも元気に二人で農業を頑張っていこう」
 ・直子さんから定義さんへ
 「これからも健康に気を付けて、二人一緒によろしくお願いします」

組合員の意見を事業運営に反映 令和7年度地区別座談会



▲座談会であいさつする三浦組合長

令和7年度の地区別座談会が2月25日、26日の2日間、管内3地区で開催されました。組合員の意見や要望を幅広く聞き、今後のJA事業に反映させるため毎年行われています。25日に尾花沢宮農センター(尾花沢地区)と大石田宮農センター(大石田地区)、

26日に本店(村山地区)で開催、3地区合わせて48人の組合員が出席しました。今回の地区別座談会時だけでなく、組合員の皆様から様々な機会でも頂いたご意見、ご要望につきましては十分な検討を重ね、今後のJA事業運営に反映させていただきます。



▶村山地区の座談会



▶尾花沢地区の座談会



▶大石田地区の座談会

CONTENTS もくじ NO.372 2026.3

- (今月の表紙)元気にがんばってます /お天気カレンダー 2
- 地区別座談会 / ハウスさくらんぼ講習会 3
- JAみちのく村山合併30周年記念式典 4
- ニュース展望台 6
- 女性部活動 8
- 「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール表彰式 9
- 第41回 農業高校生小論文コンクール 10
- みちのくほいす /クロスワードパズル 12
- お知らせ掲示板 14
- 家族で楽しむおいしい一皿 /おらえのめんごっこ 16

お天気カレンダー

気象予報士 檜山靖洋

春なのに

4月といえばいろいろな花が咲き乱れ、寒さもなくなり、春本番のイメージがあると思います。ところが、近年の4月は昼間なら半袖でも過ごせるくらいの気温になる日が増えてきています。例えば東京では、ここ数年4月の夏日(最高気温が25度以上の日)が増えてきています。4月に夏日になった日数は2018年が9日で最も多い記録で、次いで2024年の8日、2022年の7日となっています。ソメイヨシノの開花も早まっていますが、初夏の花であるツツジやフジも、4月に入ると早々に咲きだすことが多くなりました。4月が春本番ではなく、もう初夏になろうとしています。昔ながらの気象や季節の本を読むときは、少し先のページを読まないで、実際の気温や体感に合わないかもしれません。地球温暖化の影響もあり、暑と感じる期間が長くなっています。満開の桜の向こうにはすぐに初夏の気配が漂います。

順調な生育 ~ハウスさくらんぼ園地で講習会~



▲園地巡回時、ハウス内で行われた栽培講習会(三原勝氏の園地)

JAみちのく村山村山宮農センター村山さくらんぼ加温ハウス研究会(井澤健司会長、13人)では2月10日と24日に園地を巡回しました。良質のさくらんぼを生産、出荷するため毎年行われている、花を咲かせたハウス内のさくらんぼの生育状況や樹勢管理状況などを確認しました。今年も、1月下旬からの強い寒気の影響で降雪が増え、温度管理や施設管理には十分注意しました。

10日は、村山市大久保の三原勝氏のハウスを巡回。受粉作業も最盛期を迎え順調に生育していて、北村山農業技術普及課の荒澤直樹シニア専門員による栽培講習会も開かれました。特に開花期は高温にならないようにハウス内の温度管理を徹底するなど、3月下旬の出荷に向け今後の栽培管理のポイントについて話しました。



△式辞を述べる三浦組合長



▲組合員や行政・関係機関の代表、取引先の関係者、JA役職員ら約750人が出席

と農業」をテーマに記念講演を行いました。1972年に監督デビューし、故松田優作さんを主演で起用した「最も危険な遊戯」や「蘇える金狼」「野獣死すべし」等の劇場映画、「西部警察」「あぶない刑事」など作品数は500本を超えています。講演で村川氏は、生涯の念願である「故郷返し」



▲祝辞を述べる鈴木農林水産大臣



▲あいさつする高谷元組合長

として、昨年11月に村山市を舞台にした映画「LAST DANCE 最後の遊戯」の撮影を行い、市民やJA職員もエキストラとして参加するなど協力に感謝し、これまでの人生を振り返り「人間は無限の時の流れの中で偶然に生まれ、必



JAみちのく村山 合併30周年記念式典

750人が出席。農業・地域振興誓う

JAみちのく村山の合併30周年を祝う記念式典が2月14日、村山市の村山市民会館で行われました。組合員や行政・関係機関の代表、取引先の関係者、JA役職員ら約750人が出席し、30年の節目を祝いました。

席上、JAみちのく村山の発展に寄与された第4代組合長の高谷尚市氏に感謝状を贈呈。高谷氏は合併20周年時の組合長で「この場に立つと10年前の合併20周年式典の思いがよみがえってくる。農業人口の減少、高齢化など課題が山積しているが、組合員、利用者のため、地域から最も信頼されるJAとして役職員一同英知を結集して取り組んでほしい」とあいさつしました。

三浦康彦組合長が「合併して30年。人生にたとえると転換期で、築き上げた基盤が安定し、新たな次のステージへの出発点となる。農業を取り巻く環境は大きく変化したが、30周年を契機に、JA、組合員、役職員の三位一体で協同の精神をフル活動し、農業による地域の産業振興を次の世代へ確実につなげていく

ことが重要である。これからも地域に根差し、組合員の安定した暮らしを支えるJAを目指していく」と式辞を述べた。



▲高谷元組合長に感謝状を贈呈

然として限りある生命を終える。これが人間それぞれを持ち時間。たった1回きりの取り返しのきかない自分の時間をどう過ごしたらよいのか考えるのが大切である」と話しました。

当JAは1995（平成7）年4月1日、JA村山市・JAおばなざわ・JA大石田町の3JAが合併し、広域JAとして設立。村山市に本店事務所を置き、各地域に3営農センター、4支店、3経済事業所その他、2すいか選果施設、果実選果施設、4カントリーエシベーターなどの施設を有しています。



▲記念講演を行う村川監督



当選者決定
～記念式典参加者限定大抽選会～

特賞・旅行券（100,000円）などが当たる、30周年記念式典参加者限定の抽選会が2月17日本店で行われ、特賞から6等まで合計136人が当選しました。

尚、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

▲抽選を行う三浦組合長

はいつと、JAグリーンおおいしだ で売り出し

おばね産直館「はいつと」の合併30周年記念セールとJAグリーンおおいしだ冬の感謝祭が2月13日に開かれました。

はいつとでは、尾花沢牛消費拡大セールが開かれ、焼肉セットやすき焼き用などの牛肉を特価で提供。JAグリーンおおいしだでは冬物商品全品10%OFF。「産直つなぎ」がウレイやホウレンソウ、小松菜、ネギなどの新鮮野菜を販売しました。

両会場とも、寒い中にもかかわらず多くのお客様が来店し買い求めていました。



▶特産牛肉を特別価格で提供（はいつと）



▶売り出しイベントで買い物を楽しむ来場者（JAグリーンおおいしだ）

伊藤さんが優勝 ～農産物鑑定大会～

山形県農産物検査技術向上協議会は1月29日、山形市の協同の杜「JA研修所」で農産物鑑定大会を開き、当JA大石田営農センター勤務の伊藤祐司さんが優勝しました。



▲優勝した大石田営農センターの伊藤さん

農産物検査の信頼性・公平性の確保と検査技術の維持・向上を図ることを目的に開かれたもので、優勝した伊藤さんは、2月20日に開かれたJAグループ全国鑑定大会に出場しました。

東海林和博さんが部会長賞 ～みちのく村山牛枝肉研究会～

JAみちのく村山牛枝肉研究会が2月16日、山形市の(株)山形県食肉公社で開かれました。第1部、第2部合わせて黒毛和種雌牛38頭が出品され、東海林和博さんが肥育した牛が最高位の「肉用牛部会長賞」に輝きました。副部会長賞には、片倉雄一さんと黒山誠悦さんが選ばれました。

肥育牛の肉質向上と、管内肉用牛事業の振興と活性化を図ることを目的に開催されたもので、肉質・脂質・霜降りの度合いなどを慎重に審査しました。



▶部会長賞に輝いた東海林和博さん
ご子息の東海林篤志さん

土づくりを学ぶ ～村山営農センターきゅうり生産部～

村山営農センターきゅうり生産部（松田康部長）の冬季研修会が2月24日、JA本店で開かれ、生産者ら20人が出席しました。

講師に、株式会社生科研営業部推進一課の田邊俊雄課長と営業部推進一課中嶋農法推進室の武田和也氏を迎え、土壌分析結果に伴う施肥設計など土づくりの重要性について学びました。生産者には個人の土壌分析の結果が配布され、結果表の見方や良品生産のための土壌改善のポイントについて話しました。

根張りに効果を発揮する肥料や葉面散布肥料などが紹介され、生産者らは、今年のきゅうりづくりに役立てようと真剣に話を聞いていました。



▶土づくりについて学んだ講習会

村山産業高校、市、JAが連携 ～農業DX推進協定締結～



▲4者が農業DX推進に関する協定を結んだ締結式（右から志布隆夫村山市長、坂井孝朗校長、三浦康彦組合長、みちのくサービス三宅宏常務）

村山産業高校、村山市、JAみちのく村山、(株)みちのくサービスの4者は2月16日、農業デジタルトランスフォーメーション(DX)推進と教育の充実に向けた協定を結びました。

農業従事者の減少と高齢化が進む中、持続可能な地域農業を実現するためには、先端技術を活用したスマート農業への転換が不可欠。村山産業高校は、文部科学省の「高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)」に採択され2年目。最新のデジタル技術を学ぶ生徒と行政、JAが持つ現場のノウハウを融合し、次世代の農業人材育成と地域農業の振興を目指します。DXハイスクールに選ばれた学校が、産学官連携で協定を結ぶのは県内では初めて。協定に基づき同校は、最新技術を活用した農業データの解析と探究活動を通じ地域課題解決策を提案し、JA、みちのくサービスは営農指導にデータを活用するほか、生徒の実習フィールドの提供や実践的な技術指導を行います。

情報交換で作物の高品位生産目指す ～営農法人協議会総会～

JAみちのく村山営農法人協議会は2月18日、JA本店で令和7年度の通常総会を開きました。

協議会に加盟している11団体の代表やメンバー、JAの職員ら16人が出席。令和7年度の事業報告、令和8年度の事業計画について審議され、満場の拍手で承認されました。役員改選では、会長に村山市の農事組合法人久楽の笹原喜幸代表理事、副会長に尾花沢市の粟生農事組合法人の遠藤順一代表理事が再任されました。

総会に先立ち、担い手支援に係る補助事業の説明会がWEBで行われ、東北農政局の担当者が、生産方式革新実施計画の申請や転換加速化総合対策事業、加速化総合対策事業について説明し、活発に意見交換が行われました。



▶再任された笹原会長(右)と遠藤副会長

良品生産へ基礎学ぶ ～りんごのせん定講習会～

村山営農センターりんご生産部は2月10日、戸沢地区の片桐和美さんと同生産部の青柳篤部長の園地でせん定講習会を開きました。

片桐さんの園地には生産者ら15人が参加。講師に、優れたせん定技術を持つ東根市の小関晃さんを迎え、せん定の重要性を学びました。この時期に毎年行っていて、小関さんは「せん定は収量、品質を大きく左右する大切な作業。自分の園地の状態を把握しせん定することが重要」と話をしました。

参加者は、安定した花芽を作り、おいしいりんごになる条件を考えせん定することの大切さを学びました。



▲せん定の技術を学ぶ生産者

協本さんが県知事賞、
富樫さんが中央会長賞

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール

第50回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの表彰式が2月23日、山形市のホテルメトロポリタン山形で開かれました。

図画部門2部（小4～6年）で、尾花沢市立玉野小学校5年の脇本柑那さんが山形県知事賞、図画部門1部（小1～3年）で、尾花沢小学校3年の富樫美咲さんが山形県農業協同組合中央会長賞を受賞。脇本さんは全国でも優秀賞を受賞しました。また、玉野小学校が学校奨励賞を受賞しました。

コンクールには、県内各小中学校から作文部門に213点、図画部門に974点の応募がありました。



▲県知事賞受賞の脇本さん(左)と中央会長賞受賞の富樫さん



●全国優秀賞／山形県知事賞
『未来で輝く玉野のお米』
尾花沢市立玉野小学校5年
脇本 柑那さん



●山形県農業協同組合中央会長賞
『外でおにぎりいただきます！』
尾花沢市立尾花沢小学校3年
富樫 美咲さん



▲県知事賞の表彰を受ける脇本さん



▲中央会長賞の表彰を受ける富樫さん

第50回「ごはん・お米とわたし」
作文・図画コンクール

(敬称略)

★全国審査会

◇図画部門2部（小4～6年）

◎優秀賞

脇本 柑那（玉野小学校5年）

★山形県審査会

◇作文部門1部（小1～3年）

◎優秀賞

大森 龍樹（楯岡小学校1年）

◇図画部門1部（小1～3年）

◎山形県農協中央会長賞

富樫 美咲（尾花沢小学校3年）

◎優秀賞

阿部 紡（尾花沢小学校1年）

三浦 敬真（玉野小学校1年）

高橋 瑞禾（福原小学校3年）

原田 侑芽（尾花沢小学校3年）

◇図画部門2部（小4～6年）

◎山形県知事賞

脇本 柑那（玉野小学校5年）

◎優秀賞

會田 絢葉（常盤小学校4年）

◇学校奨励賞

尾花沢市立玉野小学校

第69回(令和7年度)
JA共済山形県小・中学生
書道コンクール

◇学校賞

尾花沢市立尾花沢小学校

活動の成果品を展示
—戸沢支部—



▲作品を見学する来場者たち

女性部戸沢支部では12月から冬期事業として書道教室、生花教室、手芸教室など盛んに活動してきました。

自分たちの作品を地区民にも見てもらおうと、毎年戸沢地域市民センターまつりに出品し展示しています。今年は書道や生花、パッチワークのポーチや壁掛けなど活動の成果品75点を市民センター内に展示。2月22日から28日までの一週間展示され、訪れた地区民たちは「素晴らしい作品ばかりで感動する」など感想を述べ、展示品を見入っていました。

フラワーアレンジメント講習会
—福原支部—



▲フラワーアレンジメントを楽しむ参加者

女性部福原支部のフラワーアレンジメント教室が2月3日に開かれ、29人が参加しました。

尾花沢生花店の後藤ルミ子さんを講師にむかえ、啓翁桜やチューリップ、バラ、カーネーションなど春の花を用いたフラワーアレンジメントに挑戦。講師の作品を見本に、分からない所は教わりながら一本一本丁寧に花を生けました。

出来上がった個性あふれる作品に参加者は大満足。茶の間や玄関に飾りました。



女性部

女性部楯岡支部は2月4日、大倉市民センターで味噌作り講習会を開き、女性部員13人が参加しました。

煮た大豆に塩切米麴を混ぜ合わせ、大豆の煮汁で硬さを調整しながら機械で挽き、容器に詰め込んでいきます。大豆は楯岡営農生産組合が種から刈り取り、乾燥したものを使用。約10ヵ月でおいしい味噌が出来上がります。

毎年参加している女性部員は「手作り味噌は格別。甘みがありおいしい」と感想を述べ、手作り味噌が食べられる日が待ち遠しい様子でした。



▲味噌作りに挑戦する女性部員たち

大石田地区女性部は2月12日、大石田営農センターで手芸教室を開き、女性部員ら9人が参加しました。

今回はさくらほりきりの干支の押絵に挑戦。それぞれのパーツを布でくるんで下絵に張り付けて完成。出来上がった福うまが描かれた押絵に、参加した女性部員らは満足していました。

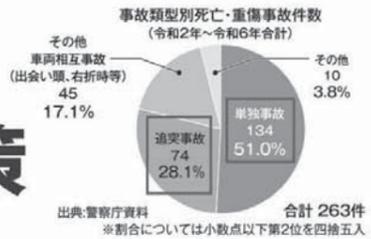


▲干支の押絵に挑戦した女性部員たち

味噌作り講習会
—楯岡支部—

手芸教室
—大石田地区—

公道での農機による交通事故の要因と対策



事故発生 の 要因

公道での農機の交通事故は大きく分けて単独事故と他の車両からの追突事故の2種類があります。

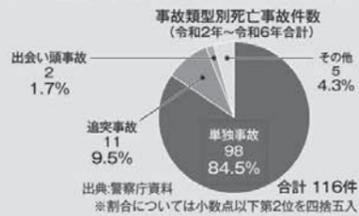
単独事故

1. 用水路等への転落

運転操作ミスや道路環境が悪いことにより、田畑や用水路等へ転落。

2. 傾斜地での横転等

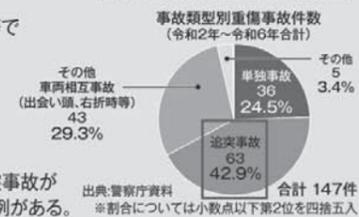
農機は通常の車に比べ重心位置が高いため傾斜地等でバランスを崩して横転。傾斜地等で自然に動き始めた農機にひかれる事故。



追突事故

夜間等における追突

夜間は後続車から農機が発見されにくく、追突事故が起る。昼間のトンネル内でも追突事故の事例がある。



共済掛金 **14,050円(一時払)**

農耕作業用小型特殊自動車(ご契約例)

新規6D等級(事故有係数適用期間0年)

共済期間:12ヶ月 年齢条件:年齢を問わず

レッカーロード費用保障条件:有 自動継続割引:有

弁護士費用保障特約:有

対人賠償:無制限 対物賠償:無制限(免責0円)(対物超過修理費用保障:有)

人身傷害保障3,000万円(被共済者限定特約:無)

※お支払には所定の要件があります。(令和8年1月現在)

自動車共済で備えられます!

今なら
お見積り
キャンペーン
実施中!!

山形県限定 キャンペーン お見積り

JAの自動車共済

キャンペーン応募はこちら

スマホでお見積りしていただき、ご応募いただくと!
抽選で総計 **600** 名様(毎月50名様)に当たる!

応募期間 2025年4月1日～2026年3月31日

●キャンペーンサイト <https://ja-kyosai-omitutori.com>

●JA共済ホームページ <https://www.ja-kyosai.or.jp>

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のおしり・約款」を必ずご覧ください。

ご契約内容のご確認・お問い合わせは各支店まで

[25062000054]

第41回 農業高校生 小論文コンクール



▲最優秀賞に輝いた沓澤さん

村山産業高校
沓澤さん 最優秀賞

JA山形中央会が主催する第41回農業高校生小論文コンクールが行われ、村山産業高校農業経営科3年の沓澤魁良さんの「祖父の背中を追って、地域を支える農家になる」が最優秀賞に輝きました。また、農業経営科3年の後藤智晴さんが優秀賞、みどり活用科3年の佐々木蓮奈さんが奨励賞を受賞しました。

コンクールは「あなたが考える農業・農村の魅力と価値について」をテーマに、7校から第1次選考を通過した24点の応募がありました。

沓澤さんの作品を紹介します。

「祖父の背中を追って、
地域を支える農家になる」

山形県立村山産業高等学校
農業経営科3年 沓澤 魁良

私の祖父は東根市で果物とお米を栽培する複合経営農家です。田んぼの水面に太陽が照り返す幻想的な風景の中、田植え機を操縦する祖父の姿が私には強烈にかっこよく見えました。「僕も運転して田植えする」と伝えた所「いいよ!運転してみろ」と今までにない笑顔を見せた祖父。期待と少しの不安を抱えて運転を交代しました。実際に操作すると綺麗に植え付けるのは非常に難しく、全神経を注いで田んぼ一枚を植え終わると「うまい。もっと練習すればうまくなる。経験は後々生きてくるからな」と祖父は私を褒めてくれました。嬉しくなった私は、本気で農業に取り組みとなり、家の土地10aを借りて農業をスタートしました。農業についてより詳しく勉強したいと山形県立村山産業高等学校への進学を決意しました。順風満帆な高校生活を想像していた私でしたが、すぐに厳しい現状を突きつけられます。自分の農地に一人で大根を作付けするも、追肥のタイミングが合わずに収量が減少。市場に卸すと直売の半額に近い値段で取引され、利益は微々たるものでした。このとき初めて私は多くの人に支えてもらいながら農業経営が成り立っていたことに気付かされました。

このままではいけない。なにか管理作業を効率化できる方法はないか。そう考えていた私に転機が訪れます。村山産業高校で生徒を対象とした農業散布用のドローンの免許講習会が行われることになったのです。すぐに受講することを決意し、1年生の時に農業散布用ドローンの免許を取得。山形県の高校生では初となる散布用ドローンも購入しました。講習を主催した企業が募集する農業散布のアルバイトに応募し、適切な

追肥の方法や雑草や害虫の被害を抑えるための防除方法などを教わりました。高校2年生になり、祖父が管理する水田に初期除草剤を散布していると近隣の農家が驚くほど集まってきました。フライトを終えるたびに「うちの畑にも散布してほしい」という声がかげられまいた。農業代に他に1反歩3千円での散布が相場であること、1反歩の散布にかかる時間が準備を含めて5分で終わることなどを伝えると「作物の質が向上するのはわかるけど、体力がついてくなくて。そんなにうまくやってもうえるならお願いします」と散布の依頼が殺到しました。今年度は農業を持参して頂き、散布を実施。その際に圃場の状態に合わせて追肥を提案し、年2回と年3回に分けて散布の依頼がありました。軽労働で適期に散布が可能であることや、高校生ならではの余暇を活用した散布の即時性の高さもとても好評で、「またお願いしたい」「初めてやりたい管理ができた気がする」という嬉しい言葉をかけてもらいました。このとき私は、高齢化が進む地域農業に貢献できた気がしました。

現在は10aの農地にキャベツを作付けし、病気や害虫の防除にドローンを活用した管理で順調に成長しています。販売方法にもこだわり、マルシェでの販売や飲食店とコラボするなど、地元で生産した野菜を提供することで、お客さんとのコミュニケーションを大切にしています。今後も顔が見える農業にこだわりたいと考えています。

このような活動を通して、農業のやりがいを実感するとともに、地域農業には多くの課題があることを学びました。これからはドローンでの農業散布補助を継続していくとともに航空撮影による植生指数の診断や病害の発生を事前に防ぐ発生予防について学習し、より適切な営農補助を通して地域農家を支えつつ、お客さんの声に寄り添った販売にこだわり、「地域を愛し、地域に愛される農家」になりたいと考えています。

理事会だより

第12回理事会が2月18日に開催
主な議案と内容は次のとおりです。

- 第1号議案 任期満了による役員選任について
- 第2号議案 JAみちのく村山人材育成基本方針の改訂について
- 第3号議案 個人情報保護法関連規程の改訂について
- 第4号議案 出資口数の減口承認について
- 第5号議案 大口貸出金の承認について
- 追加議案1 令和8年度事業計画方針について
- 追加議案2 令和8年度自己改革工程表について

【報告事項】

- ・理事会への経過報告および行事予定について
- ・主要勘定・安全性の指標について
- ・地区別座談会の開催について
- ・令和7年度豪雪対策本部の設置について
- ・肉用牛販売実績報告について
- ・おこめ券の取扱いについて
- ・融雪剤の取りまとめについて
- ・受益証券の売却完了および追加売却について
- ・苦情処理定期報告について
- ・経済部取扱いJAみちのく村山産米バックライスの販売について

「未来のために ~Next Chapter~ (次の章へ)」
(第十次経営管理3カ年計画スローガン)

JAグリーン創業祭

「創業祭」売り出しを行います!

3月18日(水)、19日(木)の2日間、JAグリーン全店舗で「創業祭」として大売り出しを行います。皆様のご来店をお待ちしています。

【事故等の場合には】

JA共済事故受付センターまでご連絡ください。
フリーダイヤル 0120-258-931 24時間 365日 受付

【レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合には】

JA共済サポートセンターまでご連絡ください。
フリーダイヤル 0120-063-931 24時間 365日 受付

JAみちのく村山 役員候補者推薦について

第31回通常総代会(令和8年6月開催予定)において、任期満了に伴うみちのく村山農業協同組合の役員選任が実施されます。

地区ごとの定数は以下の通りです。
◆村山地区……理事10人/監事1人
◆尾花沢地区…理事7人/監事1人
◆大石田地区…理事3人/監事1人
役員候補者の選出方法については、推薦制での選出となります。下記のスケジュールで行いますので、皆様方のご理解とご協力をお願いします。
詳細についてのお問い合わせは、それぞれの事務取扱担当者(営農センター長・管理部長)までお願いします。

役員選任スケジュール

【推薦会議(旧支店ごと)】

農事実行組合長、農協運営委員等が構成員となり、旧支店単位ごとに決定した選出方法で理事候補の推薦者を選出します。
事務取扱は、各営農センター等の役席職員が行います。

【地区推薦会議(営農センター)】

各地区(旧支店単位)の正組員である農事実行組合長の代表2人(葉山地区は4人)と、各営農センター単位の農協運営委員等の代表(村山2人、尾花沢2人、大石田1人)が構成員となり、推薦地区ごとに役員候補の理事候補者および監事候補者の選出を行います。

事務取扱は営農センター長が行います。

【役員推薦会議(本店)】

地区推薦委員に選任された委員が構成員となり、役員候補者を選出します。

事務取扱は本店管理部長が行います。

【理事会】

常勤理事・常勤監事、員外監事および女性理事(3名以内)の候補者は、理事会において選出し、役員推薦会議に推薦します。

【理事会】

組合長は役員候補者推薦会議で推薦を受けた候補者を、総代会に付議する議案として提出します。

【総代会】

推薦会議において推薦された理事および監事候補者の選任議案を無記名投票により表決し決定します。

マネロン・金融犯罪対策への取組強化について

近年、さまざまな金融犯罪が発生し、その手口もますます巧妙かつ高度になってきております。新聞やニュースなどの報道を目にし、不安を感じておられる組合員・利用者の方々も多いのではないかと思います。

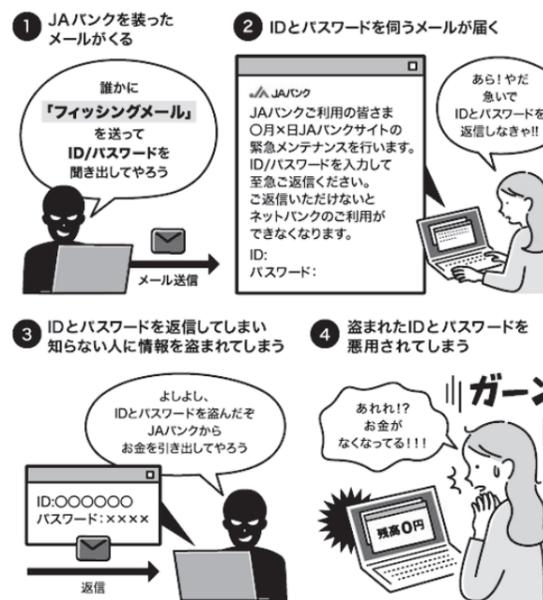
また、国際的にも金融機関が取り組むべき重要課題として、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策(以下「マネロン対策」)の重要性が一層高まっています。こうしたマネロン対策にしっかりと取り組むことは、信用事業を営む当組合の大切な責務です。

当組合では、金融機関としての信頼を確保し、そして何よりも組合員・利用者の皆さまの大切な財産を守るために、マネロン対策を重要な経営課題の一つとして位置づけ、私も含め常勤理事もマネロン・金融犯罪対策が組合内で徹底されるよう指揮のうえ、「安心して利用できるJA」であり続けるよう取り組んでまいります。

令和8年1月
代表理事組合長 三浦 康彦

JAバンクを装ったフィッシングメールにご注意ください!

偽メールに気をつけてください



操作を焦らされていませんか?

メールの件名や内容で慌てずに、まずは公式サイトからログインし、あわせて身に覚えのない取引がないか確認しましょう。

- <メールの件名> ※実際に確認されたもの
- ・【緊急情報】お客様情報・取引目的等のご確認
 - ・【JAネットバンク】利用停止のお知らせ
 - ・【JAネットバンク】緊急停止のご案内
 - ・【JAネットバンク】お客様情報等の確認について

JAネットバンク、JAバンクアプリから送付するメールのドメインは以下のみですので、不審なメールにはご注意ください。
「@webcenter.anser.or.jp」
「@otp-auth.net」 「@janetbank.jp」
「info@mailers.ja-apis.org」

不特定多数の方へ複数回送られていることが確認されています。